

平成30年度 事業報告

からまつ保育園

計 画	上半期実施状況
<p>1 事業</p> <p>(1)保育所 からまつ保育園 ①補助金事業 子育てひろば事業連携型 「からまつファミリーサポートセンター」 ②補助金事業 障害児保育事業 ③補助金事業 延長保育事業 ④自主事業 一時保育事業 (2)委託事業 病後児保育事業 「からまつキッズウイングルーム」</p>	<p>計画どおり</p>
<p>2 経営方針</p>	<p>計画どおり</p>
<p>3 行動指針</p>	<p>計画どおり</p>
<p>4 収支目標</p> <p>からまつ保育園 入所率 100%とする</p> <p>全体の経営収支は健全経営を行なう。</p>	<p>入所率 97%</p> <p>入所率 97%にとどまったが、全体の収支は健全経営を行った。</p>
<p>5 実施内容</p>	
<p>(1)施設の安心・安全な運営</p> <p>① 社会的な信頼の確保と向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種法令や規程に基づいて、個人情報等適正な管理運営を行い、職員には守秘義務の徹底を図る。 国が定める児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を踏まえて八王子市が条例で定める運営基準を遵守する。 第三者評価または利用者アンケートを受診し、高い評価が得られるサービスに努める。 保育所保育指針の内容を理解し保育を行うよう努める。 	<p>①個人情報等の扱いについて職員に会議や昼礼にて徹底を図った。</p> <p>国が定める児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を踏まえて八王子市が条例で定める運営基準に基づいて、体制を遵守し、保護者への安心、園児の安全を確保した。</p> <p>第三者評価については、10月に利用者調査、職員自己評価が終了、翌年1月に訪問調査を行い、良好な評価を得た。様々な意見のある中で改善が望まれる点を検討し、来年度改善できるように取り組みを行う。</p> <p>11月には八王子市の指導検査を受けた。保育所保育指針について勉強会等を行い、内容の理解に努めた。</p>

	<p>② 防災体制の強化と備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害の発生に備え日々の安全点検を実施し、緊急時の対応マニュアルの見直しを図り強化する。 ・防火管理委員会を計画的に開催し、組織的な防災の充実を図り活動を強化する。 ・消防計画の実施及び見直しを図る。 	<p>②災害発生に備え、訓練計画を見直し、毎月の訓練の実施、委員会の開催、訓練評価を行い、改善点を検討しながら職員が理解できるように強化を図った。</p> <p>また、非常食の在庫確認と補充を行った。職員が少人数時の訓練のマニュアルを見直し、保育士全員が対応できるように訓練を実施し、強化を図った。</p>
	<p>③ 事故、感染症等の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「是正処置報告書」「予防処置報告書」の活用を強化するとともに分析を行い、事故、感染症等の防止を図る。また、必要なマニュアルを定期的に見直し、整備を実施する。 ・リスクマネジメント委員会を中心に、園内外研修を実施・参加し、基本的な知識を高め、職員間での共有に努める。また、保育中の事故防止や不審者侵入防止を含めた安全対策を図り災害に備える。 	<p>③職員会議等で事故報告書の周知徹底を図り、併せてマニュアルの見直しを行った。疾病・感染症等の情報を早期にとり、把握して、保護者との情報の共有、予防の徹底等迅速な対応を図った。</p> <p>リスクマネジメント委員会を中心として、園内の事故の予防を図り、また、他施設での事故事例を参考に、事故防止につながるよう努めた。特に、保育内容のプール活動・食事・午睡については、マニュアルやチェック表を見直し、職員に強化を図った。</p>
	<p>④ 建物・設備の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭の排水に関する工事を計画し実施する。 ・定期的な建物、整備の点検を実施し、必要に応じて修繕を行い、維持管理に努める。 	<p>④園庭の排水についての工事に関しては今年度は実施せず、来年度へ見送った。建物に関しては、定期的な点検を行い、必要に応じて修繕を行った。また、病後児保育室の屋根の修繕を行った。</p>
<p>(2) 社会・利用者ニーズへの的確な対応</p>		
	<p>① 待機児の入所を受け入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体関係機関との連携を図り、情報を獲得する。 	<p>①自治体関係との連携を図り、安全性を考慮した上での受け入れを行った。</p>
	<p>② 保育サービスの向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達を捉え、保育・保健・栄養・子育て支援等の園外の研修に参加し、それを受けての勉強会を実施する。 ・保育・保健・栄養の計画及び評価を行い、質の向上に努める。 ・子どもの健康及び安全に留意し、健康支援に努める。 ・施設内外の環境を常に適切な状態に保持し、衛生管理に努め、清潔を保つように努める。 ・子ども及び職員にとっての、施設内外の保健的環境や衛生管理の衛生知識の維持向上に努める。 ・感染症対策委員会を定期的で開催し、感染症及び食中毒の予防等についての強化をする。 ・年間予定表に沿った各種行事を実施していく。 	<p>②保育所保育指針が改定になり、その内容に関する研修に参加し、研修内容を職員間で共有した。また、園内研修を実施しその理解に努めた。</p> <p>定期的なカリキュラム会議を開催し、評価をし、保育・保健・栄養の質の向上に努めた。</p> <p>保健では、計画通り各健康診断を実施した。また、園児及び職員に必要な薬品や備品を検討し、整備を行った。</p> <p>感染症予防の強化を図るため、手洗い、うがい、手指消毒の習慣づけをさらに徹底した。インフルエンザが流行し、感染を防ぐために園内環境の見直しを図った。</p> <p>年間予定では、入園式、保護者会、遠足、引渡し訓練、七夕会、七夕会食会、法人合同夏祭り、三園敬老会訪問、お月見会、お月見会食会、運動会、保育園説明会、親子遠足、保育展、おもちゃつき会、新入園児説明会、生活発表会、卒園式、誕生会(月1回)等を予定通り実施した。</p>

	<p>③ 子育て支援を充実する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園児の保護者や地域の子育て家庭に向けて、保育所の持つ特性を活用し、保護者の子育て支援を行う。 ・子育て等に関する相談や助言を行う専門性を充実させるため、外部や園内研修を図る。 ・子育て支援に関する機関や団体等との連携および協力を図る。 ・不適切な養育等の疑いや虐待の疑いがある場合は、子ども家庭支援センター又は、児童相談所に通告をする。 	<p>③園内研修と園外研修により、相談・助言を行う専門性を高めた。</p> <p>関係機関や団体等との連携を図り、地域との関わりを持ち保育を実施した。</p> <p>また、支援の継続している家庭、関係機関から見守りの要請のあった家庭等が3件あり、地域の関係者会議に出席し、情報を得て、職員に共有し園全体でも見守った。</p>
(3) 事業の安定的・効率的な運営		
	<p>① 職員の確保・定着に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士養成校等の連携を強め、確保しやすい関係を更に強化する。 ・人事考課面接等を更に強化し、考課者のコミュニケーション力を高め、職員間のコミュニケーションを深める。 ・業務においての達成感、職場においての満足感がもてる環境を強化する。 ・年次有給休暇の消化を積極的に推奨し、心身ともに健康で働ける環境づくりに努める。 	<p>①保育養成校より実習生6名を受入れた。また、学校訪問等により良好な関係の維持に努めた。</p> <p>副園長・課長代理・主任を中心に職員間の連携が深められるように努めている。</p> <p>年次有給休暇の消化に対して、積極的に推奨した。</p>
	<p>② 安定した経営基盤を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所率の目標達成を図り、安定的な収入を得る。 ・事業計画と予算との関連を図り、事業の安定に努める。 ・事業および予算執行の評価を行い、安定的・効率的な運営に努める。 	<p>②事業の計画、予算との関係を図り、予算に基づいた収支バランスを確保することに努めた。</p>
(4) 職員の知識・技術の向上と職場の活性化		
	<p>① 職員の資質向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改定された保育所保育指針で求められる職員全体の専門性の向上を図るため、外部研修へ積極的に参加し、キャリアパスを見据えながら職務内容に応じ体系的な研修機会の充実を図る。 ・保育士のキャリアアップにつながる研修体系や研修システムの構築について検討する。 ・保育所保育指針に対する知識を職員全員で理解し、実施する。 ・全職員が仕事への意欲向上に努める。 ・マニュアルの整備及び見直しを図り、安全を確保するための知識および保育の向上に努める。 ・職員による虐待防止を徹底するため、勉強会等を行い、虐待防止に向けた取り組みを強化する。 ・組織として役割に沿った業務内容を整理し、活性化を図る。 	<p>①職員全員が外部研修に参加するように、積極的に取り組んだ。また、研修報告やレポート閲覧をし、情報の共有に努めた。キャリアパスを見据えながら研修に参加した。</p> <p>副園長・主任保育士が各クラスの助言及び指導を行うなど、クラス運営の安定化や職員の意欲保持に努めた。</p> <p>定期的に確認をしながら、マニュアルの見直しや整備を行い、安全を確保するための知識及び保育の向上に努めた。</p> <p>職員による虐待防止に向けて勉強会を開催し意識向上に努めた。</p>
(5) 地域・後援会との連携		

<p>① 「子育てひろば事業連携型」の運営に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅子育て家庭にホームページや子育て情報誌の提供を行い、保育園としての観点から子育てについての情報を発信する。 ・年間計画表に沿った活動を進めていく。 	<p>①年間計画どおりに実施しており、在宅子育て家庭に向けて、ホームページや子育て情報誌の提供を発信した。</p> <p>年間計画表に沿った活動を進めた。</p>
<p>②「病後児保育室」の運営に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気回復期の児童(0歳児～小学3年生)が早く回復することができるよう努める。 	<p>②八王子市の子育てガイドブックに広告掲載をし、更なる利用増を見込んだがPR方法など今後の課題となった。</p>
<p>③ 「赤ちゃんふらっと事業」の運営に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の在宅子育て家庭が不安を持たず外出できる設備環境作りに努める。 	<p>③地域の方が、赤ちゃんと一緒に安心して外出を楽しめるように、授乳・おむつ替え・ミルクがつけれる等、清潔面にも配慮し、設備環境を整えた。</p>
<p>④ 子ども家庭支援ネットワークとの連携を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児困難家庭、虐待等の家庭を支援するため関係機関との連携を図る。 	<p>④家庭支援センターが主催する地域ネットワーク会議に参加し、各機関との連携作りを図った。</p>
<p>⑤ 実習生の積極的な受け入れを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習連携校からの受け入れを積極的に行い、採用に繋げられるよう努める。 ・次世代の保育士を育成するための指導を図る。 	<p>⑤実習連携校から6名の受け入れをし、次世代の保育士の育成に努めた。また、1名採用に繋げることが出来た。</p>
<p>⑥ 保幼小との連携に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域小学校、学童保育所との連携会議を行い、職員同士の共通理解を図り、保育・指導の充実に努める。 	<p>⑥地域小学校との繋がりを持ち、強化を図るため、小学校や学童保育所との打ち合わせを行った。また、小学校への見学や相互間の共通理解を図るための交流会を実施し互いの情報交換を行った。また、地域小学校の評議員会に参加し、小学校や地域の情報の獲得に努めた。</p>
<p>⑦ 子育て拠点としての機能に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園機能がもつ専門性を地域に還元する。 	<p>⑦子育て支援を随時行った。</p>
<p>⑧ 地域及び後援会と連携した行事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後援会と密接な連携を図る。 ・町会との懇談会等に参加する。(6月15日(金)) ・地域と合同で防災訓練を実施する。(10月24日(水)) ・夏祭り、バザー等の行事に取り組む。(7月27日(金)・10月6日(土)) ・地域行事に積極的に参加する。 	<p>⑧法人、後援会と合同で夏祭り、バザー、地域合同防災訓練を行った。</p> <p>また、町会役員との懇談会にて事業の説明を行った。</p> <p>10月には地域町会の運動会に参加し地域の方との交流を図った。</p>